

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回鴻巣市立小・中学校通学区域審議会
開催日	令和6年 1月26日（金）
開催時間	18時30分 開会 ・ 20時00分 閉会
開催場所	吹上生涯学習センター ホール
議長（委員長・会長） 氏 名	石崎 一記
出席者（委員）氏 名 （出席者数）	石崎一記（会長） 加藤政夫（副会長） 茂刈哲夫 中村博政 宮竹輝男 原口武志 棚澤大輔 清水励 清水良江 二瓶亮 小林久恵 斎木千恵 卯野香代子 神山和之 大橋誠 齊藤千賀子
欠席者（委員）氏 名 （欠席者数）	池澤 道弘 穠山 孝幸（2名）
事務局職員 職 氏 名	教育部長 齊藤隆志 教育部参与 上岡勝 教育部副部長兼学務課長 池田耕司 教育総務課長 松本直樹 学務課副参事 毛利岳志 教育総務課主査 新井洋平 教育総務課主任 堀智紀 学務課主任 石井亜季 学務課主事 小坂谷昂良
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会のことば 2 会長あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諮問事項についての審議 <ol style="list-style-type: none"> ①現在、小谷小学校の通学区域を令和7年度から、次のとおり再編することは妥当かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明用、前砂地区については、吹上小学校、吹上中学校とする。 ・ 三町免地区、小谷北町内会の区域については、赤見台第二小学校、赤見台中学校とする。 ・ 小谷南町内会の区域については、箕田小学校、赤見台中学校とする。 ②令和7年3月31日時点で、小谷小学校に在籍していた児童については、地区に関わらず、吹上小学校への通学を認めることは妥当かどうか。また、その際には、児童の登下校における安全確保の観点から、教育委員会で定めた基準に基づき、スクールバスを活用した送迎対応は妥当かどうか

	<p>か。</p> <p>③兄弟が吹上小学校に在籍している場合は、吹上小学校への入学を認めることは妥当かどうか。</p> <p>④令和7年3月31日時点で、小谷小学校に在籍していた児童が吹上小学校を選択した場合、又は兄弟が在籍していることにより吹上小学校を選択した場合、吹上中学校への進学を認めることは妥当かどうか。</p> <p>4 閉会のことば</p>
	<p>(決定事項など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問事項については、概ね原案どおり妥当。 ・ 資料3の事務局提案について、スクールバスの運行期間、通学区域の弾力化での対応期間については妥当。 ・ 次回の審議会は2月6日(火)午後6時30分から開催。 ・ 次回は答申の審議及び答申書の提出を行う。 <p>(主な意見と事務局の見解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三町免地区の柔軟な対応について、三町免地区だから赤見台第二小学校ということではなく、今後1人や2人の入学年度が多いため、三町免地区の方については、吹上小学校に通える選択肢を設けるような形にしていきたい。 1人で通学するのは寂しいし、明用地区か前砂地区に近い通学班と一緒に吹上小学校に通学できるのであれば、距離は伸びるが、安全性の面でも保護者は安心するのではないか。 →意見のとおり柔軟な対応というところで、通学区域の弾力化で対応するといった提案となっている。 ・ 三町免地区については、令和7年度以降入学の子どもは兄弟が小谷小学校におり、弾力化の中で兄弟がいる場合は、吹上小学校に通学ができるので、経過措置期間に兄弟がいなくて1人で入学という場合は今の住民登録の状況では考えられない。 ・ 前砂地区は吹上小学校から半径2kmの範囲を超えている部分があるが、この部分はスクールバスを使うという前提でよろしいのか。 また、赤見台第二小学校から2kmだと、前砂地区は全域が2kmの範囲に入るが、地区的な問題で吹上小学校にしたのか。 →小学校と中学校の接続を考えた時に、吹上中学校に近いというところと、前砂地区は吹上中学校寄りに在校生等の居住実態があるため、今までの意見交換の中で提案をしたときに、ほぼ全ての方が、赤見台第二小学校よりも、吹上小学校というところで受け止めた。2kmの範囲からはみ出ているところは、スクールバスの対象になるが、期間を決めて運行し、学校から一旦離れることとなったとしても、停留所に来ていただいた上でバスに乗って通学していただくことについては対応可能と考えている。 ・ 吹上小学校から2kmを超える範囲の家庭で、今後出生や転入があったとして、その人たちは歩いて吹上小学校に通学するということでよいか。 また、スクールバスの運行期間を決めてとの事だが、例えばスクールバスの期間が終わって10年後に、就学児がいた場合、スクールバスは出るのか。 →スクールバスの期間後については運行しないため、徒歩通学となる。但し、

地域的には、市街化調整区域となっており、現状でも、高校やお寺、介護施設が建っており、新規で住宅が建つ可能性は低いと考えている。

・近くに小学校があるなら、スクールバスは出さずに、近い学校に通学となるが、なぜ前砂地区はスクールバスが出るのか。

→前砂地区は基本的にはスクールバスは運行しない。

乗降場所まで来てもらえれば、期間内はスクールバスによる通学も可能と考えるが、前砂地区を2km範囲内の赤見台第二小学校とする場合、本審議会に図っていただく必要がある。今までの意見交換会等では、前砂地区を分割するという意見はなかった。吹上中学校にも近いと考えると、小学校だけではなく、中学校まで考えたときに、地域の皆さんが、吹上小学校、吹上中学校を望んでいる状況である。

・弾力的な運用の範囲内であれば、赤見台第二小学校を選択するということが可能だということか。

→各家庭の判断にもなるが可能と考えている。ただ、期間は決めなくてはいけない。市内全域にも、特に街中の方では、通学区域の境目にお住いの方が多いので、継続して認めるとなると、学区制の議論までしなくてはいけなくなる。

前砂地区は赤見台第二小学校の方が近いが、赤見台中学校より吹上中学校の方が近い。通学区域は市内全地区との均衡を保つために指定しなくてはいけない。現状を踏まえると、教育委員会としては吹上小学校、吹上中学校という通学区域の提案をしているものである。

・前砂地区は赤見台第二小学校の方が近い方もいるため、中学校のことを考えるより、小学校の通学の方が大変かなと思う。赤見台第二小学校に行って、赤見台中学校に自転車で通学の方が楽ではないか。

→前砂地区については住民登録に基づいて確認をしており、多くの家庭は吹上小学校から2kmの範囲内であり、吹上小学校が近い。

スクールバスの期間終了後の弾力的な対応については、全く検討しないというわけではなく、各家庭により理由も様々であるため、その時点で生まれているお子さんの対応についても引き続き検討しなければならないと考えている。

・前砂地区の住民としては、これまでも小谷小学校から吹上中学校へ進学していたため、吹上小学校から吹上中学校への進学を望んでおり、赤見台第二小学校で赤見台中学校というのは考えられない。

・赤見台第二小学校、赤見台中学校に通学する場合、踏切を渡ることになるが、通学路の安全については、歩道等が現状であるのかどうか。

また、具体的な通学路の案を示してほしい。

→このまま諮問が妥当であるとなった場合、小谷方面から向かう子どもたちは現在の赤見台第二小学校の通学路を使うので、今までどおり安全は確保できていると考えている。ただ、赤見台第二小学校の通学路まで合流するまでは新たに通学路を設定する必要がある。

未就学児の意見交換会時に、教育委員会から、通学路の案を示したが、防犯や、安全面を踏まえて、その道は地元からすると現実的ではないという意見をいただいた。現時点で具体的に示すことはできないが、今後も最大限の安全を

確保するため地域の皆さんと検討していく。

・三町免地区と赤見台第二小学校寄りの前砂地区については、人数が少なく通学班も組めない問題もあるが、明用地区、前砂地区の方の通学班に入って一緒に通うことも選択肢としてはあるのではないかと捉えてはいた。

・それぞれの学校で受け入れることになるが、閉校の措置でスクールバス等の対応が発生する中で、学校側の負担が増えることに対して手厚くしてほしい。
→閉校が行われた場合、教員は埼玉県の職員のため、学校の統合があるという申請をして、教員の増員をしてもらう。実際に、笠原小学校や常光小学校の時も増員してスクールバス対応の職員を増員した。小谷小学校に関しても同じように対応していく。

・地区で小谷子ども見守り隊があるが、その人が不在の期間があり、毎日旗振り当番で近所のお母さんと協力して実施したが、非常に大変だった。スクールバスが出なくなったあともコミュニティバスの路線を通してもらえば、活用できているのでお願いしたい。

→スクールバスが出なくなるまで、まだ長期間あるが、在校中に各家庭で色々想定や考えを巡らしていくと思う。下の子を最初から指定校に入れて、兄弟で別の学校に就学する可能性も含めて、各家庭がどう判断するかになる。

今の時点では想定しづらいので、家庭で検討する時期になる1年前や2年前に、また相談し、何かいい方策があるかということを考えなければならない。

・保護者の中には令和6年度はどうするのか不安に感じている方がいる。もうすぐ入学説明会や学用品の準備もあるため、通学区域審議会で決まった後のスケジュール概要を示してほしい。

→来年度入学する家庭においては、既に個別に相談がきている。2月の上旬の説明会に、どちらの学校か分からないまま出席するのか、出席はするけど学用品は買わないで見送る方もいる。決まり次第、相談いただいている家庭に連絡をするという約束をしているので、遅くとも2月下旬には案内できると考えている。

・小谷小学校の閉校も悪い方に捉えずに、良い方に捉えて、プラス思考に持って行ってほしいと思っている。

配布資料

- 資料1 小谷小学校未就学児意見交換会概要
- 資料2 鴻巣市スクールバス運行管理に関する要綱
- 資料3 論点整理